|  |
| --- |
| 破産手続開始・免責許可申立書作成の説明書 |

水戸地方裁判所破産再生係

電話　０２９－２２４－８０７４

◎　申立ての準備は、必ずこの説明書を読みながら行ってください。

◎　裁判所は、申立書やその添付資料等（以下「申立書等」と言います。）に基づいて、破産・免責について判断をします。したがって、あなたのこれまでの生活状況、財産状況、借入状況等、事実をありのまま書き、資料を提出してください（事実と異なる内容の書類を裁判所に提出し、その内容を前提とする説明をした場合、免責許可決定が受けられなかったり、刑罰を受けたりする場合があります。）。

Ⅰ　準備

１　申立書を作成するための筆記具は？

黒のペン（ボールペン、万年筆等）を使用してください。鉛筆は使用しないでください。

２　記入を間違えてしまったら？

間違えてしまった箇所に二重線を引き、その箇所に訂正印（申立書に使用した印鑑）を押してください。修正液や修正テープは使用しないでください。

３　申立書の作成の他に必要な準備は？

次ページ以降の「説明」と「申立てに必要な添付資料一覧」でチェックをしながら、申立てに必要な資料を揃えてください。申立てに際しては、「申立書」「添付資料」「費用等」のほか、チェックをし終わった「申立てに必要な添付資料一覧」「申立てに必要な費用等一覧」を提出してください。

４　裁判所に提出する申立書等は、コピーをして手元に残す？

破産・免責について判断するに当たって、裁判官との面接を行います。その際、裁判所に提出した申立書等の内容について質問がなされますので、申立書等のコピーをとっておいてください。

Ⅱ　提出

１　水戸地方裁判所に破産の申立てができるのは、次の地域に住んでいる方（住民票等に記載の住所と現実に住んでいるところが異なる場合は、現実に住んでいるところ）に限られます。これ以外の場所に住んでいる方は、原則として各地の支部が担当になりますので、各支部にお問い合わせ下さい。

　　　水戸市、ひたちなか市、那珂市、鉾田市、小美玉市のうち旧小川町及び

　　　旧美野里町の地域、笠間市、桜川市のうち旧岩瀬町の地域、常陸太田市、

　　　常陸大宮市、茨城町、大洗町、城里町、大子町、東海村

２　申立てに当たっては、申立書等の審査・訂正、予納金納付手続等、相当程度の時間（１時間以上）がかかりますので、時間には余裕を持って、できるだけ次の時間帯にお越し下さるようご協力をお願いします。

◎午前８時３０分～午前１１時頃まで（比較的すいています。）

◎午後１時～午後４時頃まで（午後４時以降に窓口に来られた場合、その日のうちにすべての受付手続が終了せず、後日再度おいでいただくこともありますからご注意ください。）

３　申立書等に不備がある場合は、受付ができない場合がありますので、十分に気をつけてください。

４　申立てをする時など、裁判所にお越しの際は、必ず申立書に押した印鑑と同じ印鑑をお持ち下さい。

１ページ

|  |
| --- |
| 【記入例】  （ふりがな）　　 　みと　 たろう  　申立人氏名：　　水戸　太郎　① （旧姓　×山　②：旧姓で借入した場合のみ）  　：昭和・平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日生（ ×× 歳）③  　本籍及び住民票上の住所：別添の住民票（※）記載のとおり  　　　※　申立日から３か月以内に市町村から交付された原本で、世帯全員、本籍、続柄の記載があり、  個人番号、住民票コードの記載がないもの  　現住居所：（〒ooo－oooo ）（□住民票と同一　☑住民票と異なる）  　　　　〇〇市〇〇〇９－８－７　④  ⑤送達場所：☑上記現住居所  □代理人弁護士法律事務所  　　〒  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　℡  ⑥連絡先電話番号：□自宅 □職場 ☑その他　〇〇〇（△△△△）××××  　　 □自宅 □職場 □その他　　　　（　　　　） |

1. 別紙「申立てに必要な添付資料一覧」（以下「資料一覧表」という。）の１欄記載の住民票を用意し、記載してある名前を正確に記入します。
2. 債権者一覧表に記載した債権者の中にあなたの旧姓しか知らない債権者がいる場合は、旧姓を記入します。
3. 生年月日と申立時の年齢を記入します。
4. 現在の住所を記入します。記入した住所が、住民票上の住所と同じであれば「□住民票と同一」にチェックを、住民票上の住所と異なる場合は「□住民票と異なる」にチェックします。
5. この手続きで、裁判所から裁判結果や連絡事項を郵送する時の宛先になりますから、その郵便を必ず受け取れる場所を選んでその□にチェックを記入します。

例えば、上記現住居所　というように記入します。

　⑥ 連絡先となる電話番号を記入します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 【記入例】  令和〇〇年〇〇月〇〇日  　　　　　　　　 水戸　太郎　　　　　　　　 | | |
|  | ⑦ |  |
| ⑧ ・日本司法支援センター（法テラス）による法律扶助　【有・】  ⑨ ・手続についての意見　【同時廃止・管財手続】  ⑩　・破産予納金の電子納付の希望　【有（番号：　　　　　　　　）・】 | | |

⑦　名前を記入し、押印します。ここで、押印した印鑑は、申立書の作成のほか、この手続全体を通して使用することとなります（実印である必要はありません。）。

⑧～⑩ 該当する方に○をつけてください。

２・３ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  債権者一覧表（一般用） | | | | | | | |
|  | ⑧債権者数（一般）合計10人（社）⑨現在の残額（一般）合計981万6990円 | | | | | |  |
| 番  号 | ①債　権　者　名 | ① 債　権　者　住　所 | | | ⑥現在の残額 |
| ②借入・購入の時期 | ③借入・購入総額 | ④原　因 | ⑤使　途 | ⑦最後の返済日 |
| 1 | 〇〇〇債権回収㈱  （原債権者○○銀行） | 〒ooo-oooo　 土浦市○○１－２－○ | | | 543,201円 |
| H24年2月～ 年 月 | 1,000,000円 | B C D | □住宅ローン □生活費 □飲食交際遊興費  □事業資金 □返済 ☑車購入 | R3年1月9日 |
| 2 | （株）○△信販 | 〒ooo-oooo　 ○○区○○１－１－○ | | | 223,789円 |
| H28年3月～R4年1月 | 250,000円 | C D | □住宅ローン ☑生活費 □飲食交際遊興費  □事業資金 □返済 ☑パソコン購入 | R4年4月25日 |
| 3 | （株）○×商事 | 〒ooo-oooo　水戸市○○○１－〇－１ | | | 550,000円 |
| H30年2月～R4年4月 | 500,000円 | B C D | □住宅ローン ☑生活費 □飲食交際遊興費  □事業資金 ☑返済 □ | R4年4月25日 |
|  |  |  | |  |  |

※記入する際は、借入時期の古いものから順を追って記入してください。

※借入先（債権者）が１７名以上いる場合は、記入する前に、あらかじめこの「債権者一覧表（一般用）」の用紙をＡ４版の紙にコピーして付け足してください。

①～③、⑥、⑦について

これらの欄は、債権者に対する債権調査、債権者から来た請求書、督促状等の資料に基づいて正確に記入します。これらの資料で確認できない点がある場合又は資料がない場合は、その債権者に連絡をして確認をする必要があります。

おって③欄は、例えば、同じ債権者から何度も借入と返済を繰り返している場合には、その何度もした借入の総合計を記入します。

④ 「原因」については、以下を参考にして、その該当するアルファベットを○で囲みます。

Ａ＝現金の借入、Ｂ＝クレジットなどを使っての物品の購入、Ｃ＝他人の借入等の保証、Ｄ＝Ａ～Ｃ以外の原因

⑤ 「使途」（使い道）については、以下の例を参考にして、正確に記入します。

「住宅ローン」＝住宅購入のために借入等をした場合

「生活費」＝生活を維持するために借入をした場合（生活必需品購入を含む）

「飲食交際遊興費」＝スナック・クラブ等での飲食、風俗店等の利用、パチンコ・競馬・競輪等のために借入等をした場合

「事業資金」＝事業者がその事業の運転資金や設備資金のために借入や購入をし た場合

「返済」＝主に他社に対する返済のために借入をした場合

「○○購入」＝自動車、電化製品、貴金属、衣服等の高価品購入のため借入等をした場合（生活必需品購入は除く）

「投資・投機」＝株・先物取引等、投資・投機等のために借入等をした場合

そのほか、以下のような点に注意して記載してください。

1. 債権者一覧表に記載する債権者は、銀行やローン会社、信販会社などだけではなく、あなたが債務を負っている全ての債権者を記載しなければなりません。
2. 人から物を買ってまだ代金を払っていない場合も記載する必要があります。
3. いわゆるヤミ金融も記載する必要があります。
4. 支払を怠っている家賃や管理費、電話料金（携帯電話を含む。）、水道代、電気代、ガス代、診療費、レンタル料、受信料、接続料なども全て記載する必要があります。
5. 家族や友人などからお金を借りたりしているときも記載する必要があります。

破産手続費用を人から借りた場合（申立書１２ページの第５）も記載する必要があります。

1. あなたが保証人（連帯保証人を含む。）になっている場合も記載の必要があります。
2. あなたが不動産を所有している場合には、不動産登記簿謄本を充分に確認してください。乙区の欄に抵当権設定の記載があれば、あなたが債務を負っている可能性がありますので、抵当権の設定を受けているすべての個人・会社について、必ず確認をしてください。
3. あなたの預金通帳の残高がマイナスになっている場合には、銀行などに債務を負っている可能性がありますので、充分確認をしてください。例えば、定期預金がプラス、普通預金がマイナスになっていても、銀行などから相殺の通知を受けるまでは、普通預金については債務として債権者一覧表に記載する必要があります。
4. あなたが相続をしたことがある場合に、亡くなった人（被相続人）に債務があると、その債務は、法定相続分に従ってあなたにも債務が相続されることになります。亡くなった人（被相続人）が財産を持っていなかったとしても、債務を負っている場合にはその債務は相続されます。したがって亡くなった人（被相続人）に債務があったかどうかを確認し、債務を負っている場合には、自己の相続分にあたる部分を債権者一覧表に記載してください。

４ページ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  債権者一覧表（公租公課（税金・国民健康保険料・年金保険料等）用） | | | | | | |
|  | ④公租公課合計３庁　　　　　　　　⑤現在の滞納額合計２０万５０００円 | | | | |  |
| 番号 | ①債　権　者　名 | ① 債　権　者　住　所 | ②種　別 | ③現在の滞納額 |
| 1 | ○○市役所 | 〒ooo-oooo  　○○市○○〇1-2-3 | 固定資産税 | 104,000 円 |
| 2 | ○○市役所 | 〒  　　同　　上 | 軽自動車税 | 50,500 円 |
| 3 | ○○年金事務所 | 〒ooo-oooo  　○○市○○○1-2-3 | 国民年金 | 50,500円 |
|  |  |  |  |  |

1. 同じ市役所・県庁等でも、②の種別が異なる場合は，別々の欄に記入します。
2. 種別は、記入例のように具体的に記入します。下水道代はこの債権者一覧表に記入しますが、水道代・公営住宅の家賃は「債権者一覧表（一般用）」に記入します。
3. 該当する公共機関からの通知書や督促状等に基づいて正確に記入します。
4. 公租公課債権者の合計数を記入します。
5. 現在の滞納額の合計を記入します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】 　 　⑥ ⑦ | | | | | |
|  | 債権者合計（一般及び公租公課） | １３人 | 現在の残金額合計 | 10,021,990円 |  |
|  |  |  |  |

1. 申立書２ページの「債権者数（一般）合計」と４ページの「公租公課合計」を足した数を記入します。
2. 申立書２ページの「現在の残額（一般）合計」と４ページの「現在の滞納額合計」を足した金額を記入します。

**※５～２０ページの記入の際の注意点**

**記載されたものを所持していない場合には、【有・無】欄の「無」に○をつけてください。**

５ページ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  １　現　金（申立時の金額を記載）　　 ① ４万円  ２　預金・貯金（ネット銀行含む）② 【・無】□補充あり | | | | | | |
|  | 金融機関・支店名 | 口座  種類 | 口座番号 | 最終記帳日  （年月日） | 現在の残高 |  |
| ○×銀行△△支店 | 普通 | 1234567 | 令和４年８月２８日 | 12,345円 |
|  |  |  |  |  |
| |  | | --- | | 合計　　　12,345円 |     ３　証券口座（ネット証券含む）③ 　 【・無】□補充あり   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 証券会社・支店名 | 口座番号 | 資産種類 | 最終確認日  （年月日） | 現在の残高  （申立時のレートで算出） | | ○×証券△△支店 | 2345678 | 投資信託 | 令和４年８月２７日 | 98,765円 | |  |  |  |  |  |  |  | | --- | | 合計　　 98,765円 | | | | | | | |

1. 手持ち現金（自宅で保管している現金も含む）の合計額を記入します。
2. 自分名義（旧姓含む）で、次のア～ウの預貯金口座をお持ちの方は、「有」に○をつけ、資料一覧表の３欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。総合通帳の場合、定期、積立、普通と区別し、それぞれ記入して下さい。残高が「０」やマイナスで記載されている場合でも記入してください。

ア　現在使用している預貯金口座がある場合

イ　現在は使用していないが、解約していない預貯金口座がある場合

ウ　過去２年以内に解約した預貯金口座がある場合

1. 自分名義（旧姓含む）で、次のア～ウの証券口座をお持ちの方は、「有」に○をつけ、資料一覧表の４欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。残高が「０」やマイナスで記載されている場合でも記入してください。

ア　現在使用している証券口座がある場合

イ　現在は使用していないが、解約していない証券口座がある場合

ウ　過去２年以内に解約した証券口座がある場合

６ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  ４　積立金等（社内積立、財形貯蓄、事業保証金など）④　【・無】□補充あり   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 種　　　類 | 開　始　時　期 | 毎月の積立額 | | 現在の残高 | | ○×保険（財形貯蓄） | 平・３年９月頃 | １万円 | | １２万円 | |  | 平・令　年　月頃 |  | | 円 | | 合計　　 １２万円 | | | | | | | | | |
| ５　保険（生命保険、傷害保険、火災保険、車の任意保険など、ネット保険含む）⑤　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　 【・無】□補充あり | | | | | | | |
|  | 保険会社名 | 保険の種類 | | 証券番号 | 引落口座名 | 解約返戻金額 |  |
| ○×生命保険 | 医療保険 | | A-12345 | 〇×銀行△△支店 | ３万２０００円 |
|  |  | |  |  |  |
| |  | | --- | | 合計 ３万２０００円 |   ６　有価証券（手形、株券、出資証券）、出資金、ゴルフ会員権など⑥【・無】□補充あり | | | | | | | |
|  | 種　　　類 | | 取 得 時 期 | | 担保差入 | 評　価　額 |  |
| ○×カントリークラブ | | ・令９年６月頃 | | 有　□無 | ０円 |
|  | | 平・令　年　月頃 | | □有　□無 | 円 |
| |  | | --- | | 合計　　　　 ０円 |   ７　貸付金・売掛金（回収不能のものも含む）等⑦　　【・無】□補充あり   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 相手方の名前 | 発　生　時　期 | 回収見込 | 回収不能の理由 | | 現在の残高 | | 茨城　太郎 | ・令２５年４月 | □有無 | ※ | | ２５万円 | |  | 平・令　年　　月 | □有□無 |  | | 円 | | 合計　　　 ２５万円 | |   ⑧※お金を貸した際には、契約書は作成しませんでした。相手方とは、平成１６年  １月頃から連絡がとれなくなり、現在どこに住んでいるのか、どこに勤務して  いるのかも不明です。なお、相手方の資産状況も不明です。 | | | | | | | |

④ 自分名義で社内積立や財形貯蓄を行っている方は、「有」に○をつけ、資料一覧表の５欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

⑤　自分が「契約者」になっている保険がある方は、「有」に○をつけ、資料一覧表の６欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

⑥　有価証券（株式投資や投資信託を行っている場合も含みます）やゴルフ会員権等を持っている方は、「有」に○をつけ、資料一覧表の７欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。また、有価証券を担保にしてお金の借入をしている場合は、「担保差入」の欄の「□有」にチェックします。

⑦ 次に該当する方は、「有」に○をつけ、その内容を記入（「現在の残高」は、回収可能性の有無にかかわらず必ず記入）するとともに、その裏付けになる資料（例えば、契約書のコピー、保証債務を履行したことがわかる領収書のコピー、請求書のコピー等、資料一覧表の７欄記載の資料参照）を準備します。

1. 他人（親族・友人を含む）にお金を貸している方
2. 会社に出資している方
3. 保証人として本人に代わって債権者に返済した方
4. 自営業の方で、未回収の売買代金等がある場合（飲食業の場合、つけ代金も含みます）
5. その他、他人に対して債権を有している方

⑧ 「回収見込み」の有無は、例えば、お金を貸している場合であれば、請求をした際の相手方の対応、相手方の経済的状況や資産状況などを考慮してチェックをし、回収見込み「無」とチェックした場合は、その理由を「回収不能の理由」の欄に記入します。なお、記入例のように欄外に記入する方法でも差し支えありません。

７ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】 | | | | | | | | |
| ８　自動車・バイク等⑨　　　　　　　　　　　　　　　【・無】□補充あり | | | | | | | | |
|  | 車 　名 | 購 入 金 額 | | | 現在の評価額 | |  |  |
| 年 　式 | 購 入 時 期 | | | 所有権留保 | |  |
| ○×社△△△○ | ５０万円 | | | ５万円 | | |
| 平成２６年式 | ・令２７年８月頃 | | | □有(引上げ予定(□有□無))☑無 | | |
| |  | | --- | | 合計　　　 ５万円 |   ９　不動産（土地・建物・マンション：遺産分割や遺言により申立人所有になったが相続  登記未了のものを含む。）⑩　　　　　　　　　　　　 【・無】□補充あり   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 不動産の所在地 | 種　類 | 担保の種類 | 被担保債権額 | 固定資産評価額 | | 査定額 | | ○○県○×市□△  1-2-3 | ☑土地 □建物  □マンション | 抵当権 | １，０００万円 | ８０万円 | | １００万円 | | 同　　　上  （未登記） | □土地 ☑建物  □マンション | 抵当権 | １，０００万円 | １０万円 | | １５万円 |   10　事業設備、在庫品、什器備品等⑪　　 　　　　　　　 【・無】□補充あり | | | | | | | | |
|  | 品　　名 | | 個　　数 | 購　入　時　期 | | 評　価　額 | |  |
| ○○製造機械 | | １台 | ・令２６年７月頃 | | ３０万円 | |
|  | |  | 平・令　　 年 月頃 | | 円 | |
| |  | | --- | | 合計　　３０万円 | | | | | | | | | |

⑨　自分名義（使用者・所有者名義を問わず）の自動車・バイクをお持ちの方は、「有」

に○をつけ、資料一覧表の９欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

クレジット契約やローン契約で、車・バイクを買って、その負債がまだ残っている場合は、返還の要否について債権者に確認をとってください。そして、債権者から車・バイクの返還を求められた場合には、速やかにそれに応じ、返還手続が完了した場合は、「返還確認書」「受領書」等、車・バイクを債権者が受け取ったことがわかる書面をもらい、そのコピーを裁判所に提出してください。

⑩　次に該当する方は、「有」に○をつけ、資料一覧表の１０欄記載の資料を準備し、

準備した資料を見ながらその内容を記入します。なお、「査定額」の欄には、「査定書等」に記載されている金額を記入します。

1. 自分名義の不動産を持っている方（未登記不動産も含む。なお、未登記不動産の場合は、記入例にあるように、「未登記」である旨を明示してください）
2. 自分名義でない場合でも、その不動産が相続財産の場合（相続の登記が未了の不動産がある方）

⑪　自営業者の方で、仕事の機械、事務所内の什器備品、在庫品（原材料・仕掛品を含

む）がある場合は、「有」に○をつけ、その内容を記入します。「評価額」欄は、業者等に見積もりをしてもらい、その裏付け資料（見積書など、資料一覧表の１１欄記載の資料参照）のコピーを準備し、それに基づいて記入します。

８ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  11　以上のほか、２０万円以上で購入したもののうち現在も所有しているもの（貴金属、美  術品、パソコン、教材、着物、健康器具など）⑫ 　　　 　　【・無】□補充あり   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 品　　名 | 購入金額 | 購　入　時　期 | | 評　価　額 | | ダイヤモンドの指輪 | ３５万円 | ・令３０年９月頃 | | ３０万円 | |  |  | 平・令　　年　月頃 | | 円 | | 合計　　　 ３０万円 | |   12　退職金制度⑬　　　　　　　　　　　 　　　　　　 【・無】□補充あり   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 仮に今，退職したとしたら支払われるであろう退職金見込額 | ８分の１相当額（退職が確定している場合は４分の１相当額） | 退職が確定している場合はその予定時期 | | ２５０万５０００円 | ３１万３１２５円  （☑退職未定　□退職確定） | 令和　　年　　月　　日 | | | | | |
| 13　遺産分割未了の相続財産⑭ 　　　　　　　　　　　　【・無】□補充あり | | | | |
| |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 亡くなった人 | 関係 | 相続時期 | 遺産分割未了のもの | | ×山○男 | 実父 | ・令２６年１月頃 | 土地（上記10記載のもの） | | ×山○子 | 実母 | ・令２８年１月頃 | ○×銀行定期預金 |   14　その他、破産管財人の調査によっては回収・換価の可能性がある財産⑮  【・無】□補充あり | | | | |
|  | 種　　類 | 評　価　額 | 備　考 |  |
| 過払金 | ５万円 | 相手方：△×（株） |
|  |  |  |
|  | | | | |

⑫ 資産目録中の１～１０の項目以外のもので、時期を問わず２０万円以上の金額で購入したもののうち、現在も所有しているものがある方は、「有」に○をつけ、その内容を記入します。「評価額」欄は、業者等に見積もりをしてもらい、その裏付け資料（見積書など、資料一覧表の１２欄記載の資料参照）のコピーを準備し、それに基づいて記入します。

⑬ 現在の勤務先における退職金制度の有無に応じて「有無」欄に○をつけ、資料一覧表の１３欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

⑭ 　遺産分割手続が完了していない相続財産がある場合は、「有」に○をつけ、その内容を記入します。添付すべき資料は、「資産目録」を作成する上で、各資産ごとに提出を求められている資料と同じ物（例えば、不動産であれば不動産登記簿謄本等、預貯金であれば預貯金通帳等）を準備してください。

※典型例としては、父母、子、兄弟姉妹、祖父母が亡くなられており、不動産登記簿上の名義がその亡くなられた方のままになっている場合です。この場合、実際には自分以外の方（例えば、自分の兄弟姉妹）が住んでおり、自分は別の場所で生活している場合であってもこの欄に記入する必要があります。特に多いのが、親御さんが亡くなられ、不動産がその方の名義のままになっている場合です。この点については、誤解をされる方が多く見受けられますので、記入漏れがないように特に注意をしてください。

⑮　 資産目録中の１～１３の項目以外のもので、破産管財人の調査によっては回収・　換価の可能性がある財産がある方は、「有」に〇をつけ、資料一覧表の１５欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

９ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  15　過去における財産の処分状況等  　過去２年間に解約した保険⑯　　　　　　　　　　 【・無】□補充あり   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 保険会社名 | 保険の種類 | 証券番号 | 解約返戻金額 | 得た現金の使途 | | 〇×生命保険 | 終身保険 | A-98765 | ３０万円 | 生活費 | |  |  |  |  |  |   　過去２年間に処分した評価額が２０万円以上の財産（不動産、自動車など。遺産分割  により他の相続人に帰属した相続財産も含む）⑰　　　　　【・無】□補充あり | | | | | | | | | | | | | | |
|  | 財産の種類 | | 評価額 | 処分時期 | | 処分によ  り得た額 | 処分の相手  方 | | | | 得た現金の使途 |  | |
| 自動車 | | ３０万円 | 令和３年４月 | | ３０万円 | 〇×自動車㈱ | | | | 生活費 |
| 自宅土地建物 | | ３００万円 | 令和４年１月 | | ２００万円 | ×山○夫 | | | | 返済 |
| 　過去２年間に申立人が名義を自己から他人(家族を含む。)に移転した財産（に記載したものを除く。自動車、保険、不動産など）⑱　　　【・無】□補充あり | | | | | | | | | | | | | | |
|  | 財産の種類 | 評価額 | | 移転時期 | | 移転先の名前 | | 関係 | 移転理由 | | | |  | |
| ○×生命保険 | １５万円 | | 令和２年５月頃 | | ×山△子 | | 娘 | 保険料金が支払えない為 | | | |
| 自動車 | ２５万円 | | 令和３年２月頃 | | ×山□夫 | | 父 | 車のローンを支払ってもらっていたため | | | |
| 　過去２年間に申立人が万円以上出費して、他人（家族を含む。）名義で買ったり料金を支払ったりしたもの（自動車、保険など）⑲　　　【・無】□補充あり | | | | | | | | | | | | | | |
|  | 財産の種類 | 財産の価格 | | 他人の名前 | 関係 | 購入・支払時期 | | | | 申立人の出費額 | | |  | |
| バイク | ４０万円 | | ×山乙男 | 息子 | 令和２年９月頃 | | | | ４０万円 | | |
| ○○生命保険 | ２５万円 | | ×山乙男 | 息子 | 令和４年１月頃 | | | | ２５万円 | | |
|  | | | | | | | | | | | | | | |

⑯　過去２年間に、解約した保険がある方は、解約の事実が確認できる書類（保険解約返戻金証明書コピー等）を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

⑰⑱ 過去２年間に、２０万円以上の財産（不動産、自動車、その他物品等）を処分（売却、贈与等）をしたことがある方や、過去２年間に、自分名義の財産（例えば、自動車、保険、不動産等）を「他人名義に移転」したことがある方は以下の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

1. 不動産＝不動産登記簿謄本、エに記載した資料
2. 車＝車検証コピー（履歴事項の記載のあるもの）、エに記載した資料
3. 保険＝エに記載した資料
4. 処分時・名義変更時の価値がわかる資料（例えば、査定書コピー、固定資産評価証明書等）、処分・名義変更をしたことがわかる資料（例えば、契約書コピー、競売関係の資料のコピー等）、受領したお金の使い道がわかる資料

⑲ 実際には申立人がお金を支出（ローン支払いを含む）したにもかかわらず、契約書上、登記簿上又は車検証上は、申立人以外の名義となっているものがある方は、以下の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

1. 不動産＝不動産登記簿謄本、固定資産評価証明書、査定書コピー
2. 車＝車検証コピー、査定書コピー
3. 保険＝契約書コピー、解約返戻金証明書コピー
4. 預貯金＝預貯金通帳のコピー

１０ページ

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】 | | | | | |
| 16　収入状況  　申立人の給与、賃金、報酬⑳　　 　　　　　　　 【・無】□補充あり   |  |  | | --- | --- | | 月　　収（手取り） | ボーナス | | ２５万５０００円 | ☑有 最近（　　月に）受け取った額  □無 　　　　 　３５万５０００円 | | | | | | |
| 　公的扶助(生活保護、年金、児童(扶養)手当など)の受給（同居の家族による受給も含む。）㉑　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【・無】□補充あり | | | | | |
|  | 種　　類 | 受　給　者 | 金　　額 | 開　始　時　期 |  |
| 生活保護 | ×山〇雄 | １１万円／月 | ・令２６年７月 |
|  |  | 万円／月 | 平・令　　 年 月 |
|  | | | | | |
|  | | | | | |

⑳ 給料、自営収入等、その名目を問わず収入を得ている場合は、「有」に〇をつけ、資料一覧表の１8、１９欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。ボーナスの支給がある方は「有」に〇をつけ、受け取った月と額を記入してください。

㉑ あなたや同居の家族の方が公的扶助を受けている場合は、「有」に○をつけ、資料一覧表の２１欄記載の資料を準備し、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

１１ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  申立人（債務者）　水戸　太郎　①に関する  　 ☑　陳述書（作成名義人は申立人）　　　　　　　水戸　太郎　　　　①  　 □　報告書（作成名義人は申立人代理人）  第１　負債を負ってから現在（10年未満の場合は過去10年前から現在）に至る職歴等  □補充あり  １　職歴② | | | | | | | | | | | |
|  | 期　　　間 | 会社名 | | 仕事の種類 | | | 仕事の内容 | | 手取月収 | |  |
| ・令１９年４月  ～  ・令２２年９月 | ○×△  株式会社 | | □自営　□正社員  契約・派遣社員  □パート□アルバイト  □無職 □その他 | | | 事務（庶務） | | 約１５万円  ～  約１８万円 | |
| ・令２２年１０月  ～  平・令　　年　月 | ○×物産  株式会社 | | □自営　正社員  □契約・派遣社員  □パート□アルバイト  □無職 □その他 | | | 事務（営業） | | 約２０万円  ～  約２５万円 | |
| ２　上記職歴中における退職金受領の有無③　　　　　　　 　　【・無】 | | | | | | | | | | | |
|  | 受領した時期 | | 受領した金額 | | 使　　　　途 | | | | |  | |
| ・令２２年１０月１５日 | | ３０万円 | | 退職後の生活費として使った | | | | |
| 第２　家族関係等④ | | | | | | | | | | | |
|  | 氏　　名 | 関　係 | 年齢 | 同居の有無 | | 職　　業 | | 月　　収 | | |  |
| 水戸　花子 | ・夫 | ４２ | ・別 | | パート | | ５万　　円 | | |
| 水戸　次郎 | 子 | １５ | ・別 | | 学生 | | 万　　円 | | |
| 日立　梅子 | 母 | ７８ | 同・ | | 無職（年金） | | ８万　　円 | | |
| 麻生　三郎 | 知人 | ４５ | ・別 | | 自営業 | | ２５万　　円 | | |
|  | | | | | | | | | | | |

1. 「陳述書」の□にチェックをして、氏名を記入し、１ページで使用した印鑑で押印してください。

弁護士が申立人代理人となって作成した場合は、「報告書」の□にチェックをして、記名・押印してください。

1. 職歴は、古い順に記入します。現在給与所得がある方又は申立て３か月前まで給与所得があった方は、資料一覧表の１８欄記載の資料を準備してください。なお，自営業者の方（又は自営業者であった方）及び会社の代表者（又は代表者であった方）は、資料一覧表の１９欄記載の資料を準備してください。
2. ②の職歴の中で、退職金（慰労金）を受領したことがない方は、「無」に○を付し、受領したことがある方は「有」に○を付してその内容を記入します。
3. 父母、夫妻、子については、同居別居の区別なく、すべて記入します。また、同居している場合は、親族でなくても記入します（記入例の最下段参照）。同居者についても「月収」欄に給料、年金等の月額を記載し、その方が主たる生計維持者の場合は②に記載されたものと同じ資料を準備してください。

１２ページ

|  |
| --- |
| 【記入例】  第３　結婚・離婚歴⑤ 　 □補充あり  　１　・令１５年８月結婚、・令２０年１月離婚：相手方の氏名　×山○子  　　　・令２２年１月結婚、平・令　　年　月離婚：相手方の氏名　水戸花子    ２　離婚歴がある人について、  　・財産分与・慰謝料支払い（の約束を含む）の有無　　　　　　　【・無】  　　　　相手の氏名　×山○子　対象物　　建物　　金額　　４２０万　円  　　　　取決めについての書面の有無　　　【　　・　無　】  　・養育費の支払の約束等の有無　　　　　　　　　　　　　　　　【・無】  　　　　相手の氏名　　×山○子　　月額　　　５万　　円  　　　　申立人が支払う側か受け取る側か　　【支払う側・受け取る側】  　　　　未払い又は未受領の有無　　　　　　【　有　・　　】  　　　　取決めについての書面の有無　　　　【　　・　無　】 |

1. 結婚・離婚歴のある方は、その内容を記入します。財産分与をした方、慰謝料支払（の約束を含む）をした方、養育費支払いの約束等がある方は、その内容を記入します（添付書類については資料一覧表の２３欄記載の資料参照）。

第４　現在の住居の状況

この欄は、下のフローチャートを参考にして該当箇所に○を付し、その内容を記入し、※を付した資料を準備します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | | | | | | | |
|  | | | 申立人名義で借りている場合※１ |  | 「ア申立人が賃借」に○を付します。☆ |  | | | |
|  | アパート・借家等に住んでいる方 |  | | | | | | | |
|  | 申立人以外の名義で借りている場合※２ |  | | | | | |
|  | | |  | 「イ親族・同居人が賃借」に○を付します。 ☆★ |  | | | |
|  | | | | |
|  | | | | | | | | | |
|  | | | | | イにもエにも当てはまらないとき  ※５ |  | 「オ その他」に○を付、カッコ内に事情を記入します。書ききれない場合は、欄外や「陳述補充書」（別紙）を使用します。また、「オ　居住を開始した時期」に年月を記入します。 | |  |
|  | | | | | | |
|  | | | 所有者名義が申立  人以外の場合※３ |  | 「エ親族が所有」に○を付します。　★ |  |
|  | 持ち家に住んでいる方 |  | | | | |
|  | | | | | | | |
|  | | | 所有・共有名義が  申立人の場合※４ |  | 「ウ申立人が所有・共有」に○を付けます。 |  | |  | |
|  | | | | | | | |
| ★ア、イに該当する方は、該当する賃借物件（ａ～ｄ）に○をつけ、１か月の家賃と  敷金として支払った金額を記入します。  ★イ、エに該当する方は、賃借、所有している親族・同居人の氏名等を記入します。  ★オに該当する方は、居住を開始した時期を記入します。  ※１の方　賃貸借契約書コピー、入居証明書コピー、使用許可証コピー等  ※２の方　※１の資料の他＋居住証明書（書式は破産再生係窓口にあります。）  ※３の方　土地建物の不動産登記簿謄本（法務局で申請してください）＋居住証明書（書式は破産再生係窓口にあります。）  ※４の方　土地建物の不動産登記簿謄本（法務局で申請してください。）  ※５の方　破産再生係窓口にお問い合わせ下さい。  ＊　ここに記載した以外にも資料を準備していただくことがあります。 | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |

第５　今回の破産申立費用（弁護士、司法書士費用を含む。）の調達方法

|  |
| --- |
| 【記入例】  第５　今回の破産申立費用(弁護士、司法書士費用を含む。)の調達方法　□補充あり⑥  □　申立人自身の収入  □　親族・友人・知人（　　　　）からの援助  　親族・友人・知人（　　　　）からの借入  　 貸主の氏名　龍ケ崎四郎  　　　貸主は、貸付金が破産申立費用に使われることを　知っている　□知らない  □　日本司法支援センター（法テラス）  □　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

1. 申立費用の工面方法につき、該当する箇所にチェックし、内容を記入します。

1３ページ・１４ページ

第６　多額の負債を負った理由

この欄は、過去から破産申立てに至るまで、時間の流れに沿って分かりやすく（①いつ、②いかなる理由で、③どこから、④いくら借りたか又は買ったかが分かるように）記入します。それぞれの理由によって記入すべき要素が異なりますから、以下の点を参考にしてください。

|  |
| --- |
| 1. （生活費）にチェックをつけた方   ①当時の職業、②収入（月収）、③生活費が足りなくなった具体的な理由を書いてください。   1. （飲酒・飲食など）にチェックをつけた方   ①当時の収入（月収）、②どのような事をしたか（旅行、ギャンブル、風俗等）、③物を購入した場合はその商品名、④月々に使ったお金又は商品の購入金額、⑤これらのことにお金を使ったことに対して特別の事情や理由がある場合には、その事情や理由を詳しく書いてください。   1. （住宅ローン）にチェックをつけた方   ①ローンを組んだ当時の職業・収入（月収）、②購入した年と月、③購入代金、④月々のローン返済額、⑤住宅ローンが払えなくなった具体的な事情を書いてください。   1. （他人の保証）にチェックをつけた方   ①主たる債務者、②主たる債務者と申立人との関係、③保証契約を結んだ年月、④保証金額、⑤現在の残額、⑥保証をすることになった具体的な事情、⑦支払いができなくなった具体的な事情を書いてください。   1. （仕事の失敗）にチェックをつけた方  * 自営業を営んでいる（いた）方   ①会社名（屋号）、②仕事の内容、③従業員数、④売上高と純利益、⑤事業資金の種類（運転資金・設備資金等）、⑥事業不振の理由及び返済ができなくなった経緯、⑦事業資金としてつぎ込んだ金額を書いてください。   * 給与所得者の（であった）方   ①借入をした当時の職業と仕事の内容、②月収、③具体的な事情（営業の穴埋め営業費用、仕事上の付き合いのための物品の購入等）、④③の事情のために使った金額を書いてください。 |

【記入例】

　①いつ

　②いかなる理由で

　③どこから

　④いくら借りたか又は買ったか

　　　　　①　　　　②　　　　③　　　　④

|  |
| --- |
| 平成２５年３月頃、長男が小学校へ入学するため、株式会社○○○○から３０万円を借り、入学のため学用品等を買いました。その当時の私の給料は月２０万円ぐらいありましたが、３０万円もの貯金がなく一度に払えなかったこともあり、やむを得ず借りました。他に△△△△銀行からの借金１０万円もありましたが、これは月々５，０００円ずつの返済でしたし、毎月遅れずに払っていましたので、株式会社○○○○からの借入も充分返していけると思っていました。しかし、平成２６年４月頃から勤めている会社の経営状況が悪化して給料の支払いが滞るようになり、給料をあてにして返済することが困難になりました。 |

1５ページ

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  １　負債を全額は返済できないと思い始めた時期　平成・令和　４年５月頃　①  　　の具体的事情 利息が増えて支払うべき額が収入を超えるようになった ②  □勤務先を解雇された　□給料（収入）が減った  　　　　　　　　　　　□借金の申込みを断られた  　　　　　　　　 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　）  　の時期以降に借金、クレジットカード、後払いサービスの使用をした場合はそ  の時期等　③ | | | | | | | |
|  | 時　　　　期 | 債権者名 | 金　額 | | 理由及び使途 | |  |
| 平・４年　６月 | ㈱○× | ５０万円 | | 返済・生活費の為 | |
| 　の時期以降の返済はどのようにしたか。　④  　□　ア　全く支払っていない  　　□　イ　全部の債権者に支払い続けた　　（平成・令和　　年　　月　　日まで）  　　　ウ　以下の表の債権者のみに支払った（平成・令和　４年　７月２５日まで） | | | | | | | |
|  | 時　　　　期 | 相　手　の　名　称 | | 弁　済　額 | |  | |
| 平・４年　７月 | ㈱○△信販 | | ５万円 | |
| 平・４年　７月 | ㈱○× | | ２万円 | |
| □　エ　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　でイ、ウの場合、支払う金銭をどのように工面したか　⑤  　 　ア　他社から用立てた（会社名　㈱○×　　　　）  　　イ　親類知人（氏名　×川○夫　申立人との関係　友人　）から用立てた  　　ウ　その他（自分の収入から）  ２　申立人（債務者）代理人が各債権者に対して受任通知をした時期　⑥  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　令和　　年　　月頃 | | | | | | | |
|  | | | | | | | |

①② 借入金の返済ができないと思い始めた時期とそう思うに至った具体的事情について記入・チェックします。

③ 借入金の返済ができないと思い始めた時期（①で記入した時期）以降に新たな借入契約を行ったり、借入金増額（借入枠増額）の手続を行った場合には、その内容を記入します。

④ 借入金の返済ができないと思い始めた時期（①で記入した時期）以降の返済方法について、その内容をチェック・記入します。

⑤ 借入金の返済ができないと思い始めた時期（①で記入した時期）以降にも何らかの方法により返済を続けていた（主に④でイ、ウにチェックをした）方は、その返済資金の工面の方法をチェック・記入します。

⑥ 弁護士が申立人の代理人となって手続を行う場合は、代理人が各債権者に通知を行った時期を記入します。

1５ページ・1６ページ・１７ページ

第７の３について

債権者との間で、借入金の支払方法やその減額等について、話し合いをしたことがある方（ただし、単に債権者から支払いの請求を受けた場合は除きます。）は【有】に○を付して、その内容を記入します。

|  |
| --- |
| 【記入例】  ３　負債の支払い方法についての債権者との話合いの有無　　　　　【・無】  　　 交渉方法について  　□　弁護士を代理人とする交渉  　　　　　その他（債権者と弁済方法についての話し合いをした）  　の結果、話し合いが成立した債権者数（１社（人））  支払った期間　平成・令和２８年３月から平成・令和２８年３月まで  毎月の支払総額：（２０，０００円）  支払いの内訳　：　㈱○△信販 |

第７の４について

裁判所から支払督促、判決、調停調書等が届いたり、公証人役場で自分を債務者とする公正証書を作成したことがある方は、【有】に○を付して、その正本等を準備し（資料一覧表の２４欄記載の資料参照）、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  ４　申立人を債務者とする債務名義（判決書、家事審判書、和解調書、調停調書、公正証書等）の有無　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【・無】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 裁判所・公証人役場 | 種　類 | 番　号 | 債　権　者 | | 水戸簡易裁判所 | 支払督促 | ２７(ロ)９８７６ | ㈱○△信販 | |  |  |  |  | |

第７の５について

裁判所から訴状、差押、仮差押等が届き、現在も手続が係属している方は、【有】に○を付して、その書類を準備し（資料一覧表の２５欄記載の資料参照）、準備した資料を見ながらその内容を記入します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】  ５　係属中の民事訴訟事件、□調停・審判事件、民事執行事件、□　　　　又  は□保全執行済みの民事保全事件　 　 【・無】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 裁 判 所 | 種　類 | 事 件 番 号 | 相 手 方 | | 水戸地方裁判所○×支部 | 差押 | ３０(ル)１２３４ | ㈱○△信販 | |  |  |  |  | |

第８について

過去に破産・免責、個人再生又は特定調停手続を利用したことがある方は、第８欄の【有】に○を付し、資料一覧表の２６欄記載の資料を準備して、から欄の各項目の内容の記入をします。

1８ページ・１９ページ

第９　過去の生活状況等

1. １～４、６及び７について

過去５年間の生活状況について、当てはまる事実がある場合は、各項目の【有】に○を付して、その内容を記入します。

1. ５について

過去５年間に買った商品を換金したことがある方は、【有】に○を付して、その内容を記入します。なお、換金の手段は問いません。例えば、金券ショップ・質屋に持ち込んだり、リサイクルショップに売却するほか、業者の紹介で売却したり、送られてきた商品をそのまま別の場所に送ったりする場合や、知人・親族等に売った場合などすべてを含みます。記入例は以下のとおりです。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【記入例】 | | | | | |
|  | 品　　名 | 購入価格 | 購　入　時　期 | 換　え　た　金　額 |  |
| 新幹線回数券 | 100,000円 | ・令30年10月頃 | 20,000円 |
| パソコン | 200,000円 | ・令30年11月頃 | 50,000円 |
| 時　　計 | 250,000円 | ・令31年1月頃 | 60,000円 |
|  | | | | | |

③　８について

第９の１～７の設問に対して、【有】に○を付した項目がある場合は、その事情・

理由を記入します。

1９ページ・２０ページ

第10　過去の職歴又は現在の職業の中に、自営業が含まれている場合

この項目は、自営業を営んでいる方又は営んでいた方のみ記入してください。

２１ページ・２２ページ

この表には、同居している全員の方の収入・支出（一家の家計収支）をすべて記入します。例外的に、他の同居者とは家計の計算が別々である場合は、そのような扱いになっている理由をこの表の欄外に記入するか「陳述補充書」（書式は「別紙」参照）に記入します。

**家計全体の状況①（令和４年７月分）**①

（令和４年７月２５日～令和４年８月２４日）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ②    ③ | 収　　　　　　入 | | 支　　　　　出 | | ⑦    　④      　⑤    ⑧ |
| 費　　　　目 | 金　額(円) | 費　　　目 | 金　額(円) |
| 給料・賞与（申立人） | 236,800円 | 家賃（管理費も含む） | 59,000円 |
| 給料・賞与（配偶者） | 51,200円 | 地代 | 円 |
| 給与・賞与（　　　） | 円 | 駐車場代（　　　） | 円 |
| 自営収入（申立人） | 円 | 食費 | 75,000円 |
| 自営収入（配偶者） | 円 | 上下水道代 | 5,300円 |
| 自営収入（　　　） | 円 | 電気代 | 7,500円 |
| 年金（申立人） | 円 | ガス代 | 6,600円 |
| 年金（配偶者） | 円 | 電話代 | 6,500円 |
| 年金（日立梅子） | 30,000円 | 新聞代 | 3,500円 |
| 生活保護（　　　　） | 円 | ガソリン代  （車の名義人　下妻花子） | 5,500円 |
| 児童手当 | 円 |
| その他の扶助 | 円 | 医療費 |  |
| 他からの援助  （援助者　　　　　） | 円 | 教育費 | 20,000円 |
| 交通費 | 3,000円 |
| 他からの借入  （借入先　　　　　） | 円 | 被服費 | 20,000円 |
| 冷暖房燃料費 | 3,000円 |
| その他（具体的に） | 円 | 保険料・掛金  （契約者申立人･下妻花子） | 15,000円 |
|  | 円 | 交際費(友人・知人との飲食) | 20,000円 |
| 娯楽費(家族でのレジャー） | 10,000円 |
|  | 円 | 日用品 | 20,000円 |
|  | 円 | 返済（住宅ローン） |  |
|  | 円 | 返済（対業者） | 35,000円 |
|  | 円 | 返済（対親戚・知人） | 10,000円 |
|  | 円 | 返済（その他） |  |
|  | 円 | その他（具体的に） | 円 |
|  | 円 |
| 前月からの繰越し | 12,128円 | 翌月への繰越し | 5,228円 |
| 収入合計 | 330,128円 | 支出合計 | 330,128円 |

　 ⑥

①　年月日を記入します。起算日は、必ずしも１日にする必要はなく、給料等の支払日などの任意の日からで構いません。

② その月の実際の収入額を記入します。

③　給料等以外の収入（借入や援助を含む）がある場合に記入します。

④　車の名義が申立人以外であっても、駐車場代やガソリン代を支出していれば記入します。名義は車検証で確認してください。

⑤　保険契約者の名義が申立人以外であっても、保険料の支出があれば記入します。名義は保険証券の契約者欄で確認してください。

⑥　収入の合計と支出の合計は同額になります。

（収入の各項目の合計＋前月からの繰越＝支出の各項目の合計＋翌月への繰越）

⑦　水道、電気、ガスの額をそれぞれ記入します。

⑧　交際費や娯楽費の支出がある場合は、内容を記入してください。

※このページに表れた車や保険については、同居者が契約、使用しているものであっても資料を提出してください（車検証、保険証券など）。水道光熱費についても支払が分かる資料を提出してください（引落しのある口座の写しや領収書など）。 （別　紙）

陳　述　補　充　書

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |